

## モザイクによるシルバーと 障害者参加の被災地環境整備

〒277-0033  
千葉県柏市増尾177番地  
電話:0471-70-5081  
E-mail:ecoheiban@eco.ocn.ne.jp  
http://www.eco-heiban.com



復興支援助成

2年目

実践



作業所参加のモザイク埋め込み工事

6作業所における  
延べ作業人数 **4,200人**

公共広場に設置した  
モザイクの面積 **560㎡**

今年度計画の達成度 **87%**

活動の全体目標に対する  
達成度 **70%**

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

不良パーツについて、どこが悪いのか(モザイクの配列、セメントの練り方、仕上げ等)を理解してもらうこと。

#### ■ 工夫した点

彼等自身で見つけ出す新デザイン、改良を幾度となく指導、独自に市販可能な完成品になるまでつないだ。(例、額付きモザイク画)



#### 課題

3.11被災地環境整備にエコモザイク技術を修得したシルバー、障害者が参加し、弱者による街作りと自立をサポートし、新しい視線、意識改革を踏まえた活動とする。

#### 目標

2年をかけ参加6作業所に基本技術修習を完了させる。新商品開発、地域材料活用技術指導も併せて修了。新たなテーマとし、これまで蓄積したノウハウを具体的に活用する。

#### 活動内容と成果

モザイク技術の向上とし全作業所で13人の1級技能クラスが生まれる。各作業所を牽引すべき人材が確保される。新製品等のモザイク4種類を3現場で設置完了。販促推進の成果とし、高萩市復興新庁舎併設広場100㎡に2,400個

のモザイクパーツを使用。各作業所参加による施工実習と共に工事は7月に完成。11月UR都市再生機構、千葉ニュータウン中央駅改札前広場全面積460㎡を完成させる。テーマは花と風の回廊。施工にあたり各作業所は使用するパーツ個数の分担の取り決めを行う。今後のモザイク生産体制を示唆する仕事となる。



余剰石材利用のエコなモザイク材料製作

#### 今後の展望

各作業所の自立には、自主的な検査合格の作品作り、仕事を得るために地元自治体への提案、販促が肝要である。今後の作業所の位置付けは、地域福祉によるエコな環境整備を司り、アート工房としての信頼を得たい。